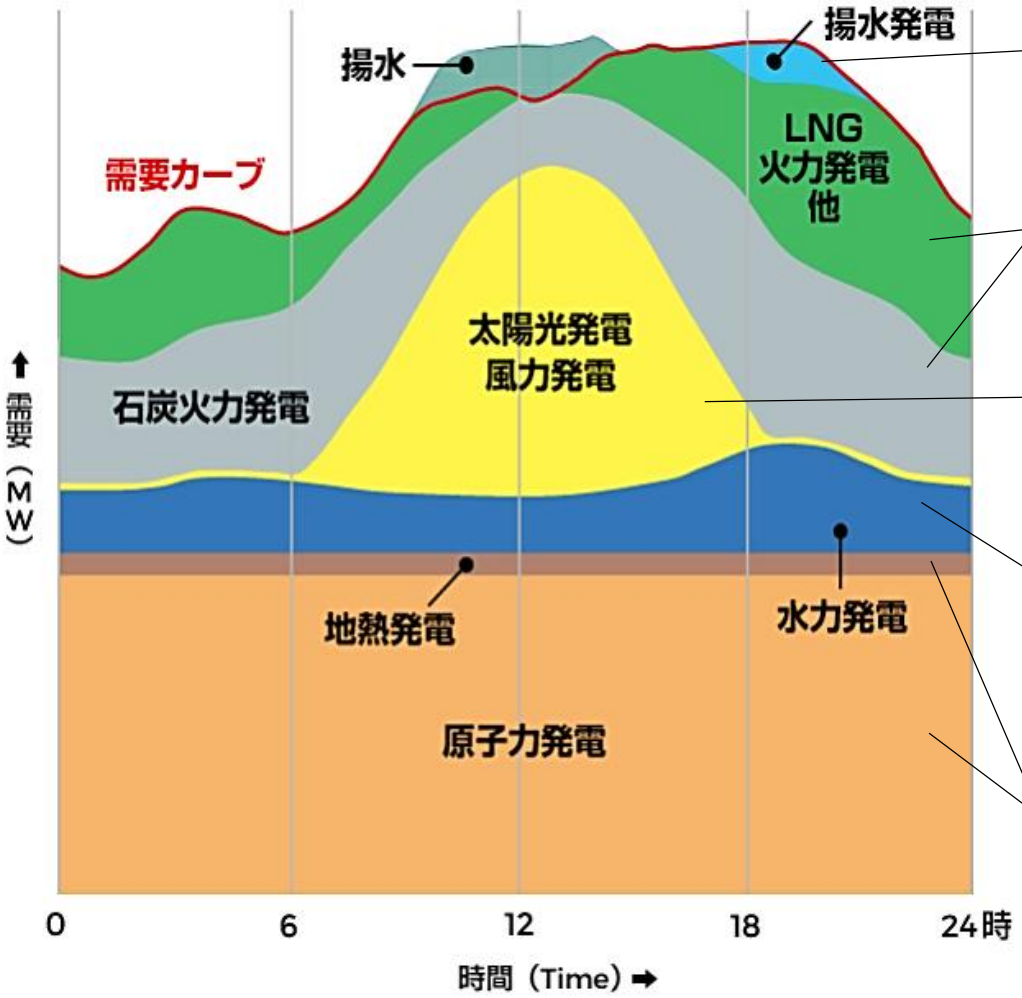
電力需要と電源の組合せ

- 原子力発電、火力発電、太陽光発電、風力発電等は、発電のしくみや発電に使用するエネルギー源の違いから、それぞれ特徴を持っています。資源の有効活用とコスト低減の観点から、これらの発電を組み合わせ、需給運用をおこなっています



【各電源の特徴・位置付け】

揚水式水力

・需要に対する太陽光の出力比率が高い日の昼間や、深夜に揚水を行い、点灯ピーク等の太陽光の出力が見込めない時間帯等に発電

火力

・ 石炭、LNGなどを燃料とする火力は、電力需要の変動及び太陽光の出力状況に応じて調整

太陽光、風力

・太陽光は、晴天時の昼間帯が最大出力、ただし、天候により出力は変動し、夜間の出力は見込めない

・ 風力は風向き・風速により出力が変動

水力

・ 貯水池式：点灯ピーク時等に運転、夜間は停止

・ 調整池式：河川の流れ込み量を調整池で調整、点灯ピーク時等に運転

・ 流れ込み式：河川の流れ込み量に応じ、昼夜フラット運転

原子力・地熱

・燃料費の安い原子力や自然エネルギーを利用した地熱は、24時間フル出力で運転